



七里っ子

【学校教育目標】

確かな学力 豊かな心
健康な体 郷土愛

道志小学校 学校だより 令和6年12月24日

文責：校長 佐藤龍文

大きな成長に感動！～2学期終わる～

本日で長い82日間の2学期が終わりました。今学期は、秋季大運動会や校外学習、持久走記録会、音楽集会など、たくさんの学校行事があり、とても充実した学期となりました。充実していた分忙しく、子ども達や教職員にとっては身体的にも精神的にもハードな毎日だったと思います。活動に負荷をかける場面も多かったと思いますが、子ども達は逞しく乗り越え、大きな成長を見せてくれました。詳しい様子は、担任からのお便りに譲りますが、子ども達の素晴らしい笑顔を何度も見られたことは、道志小学校に勤める教員としてとても嬉しいことであり、幸せを感じます。

是非、お子様が持ち帰る「あゆみ」をご覧になりながら、子ども達にとっての2学期を丁寧に振り返っていただければと思います。親子の会話があゆみを更に意味のあるものにし、次の活動への指針と活力を生むことにつながっていくことを願っています。

新時代に求められる教育 ～変わりつつある教育の姿～

今、世の中はインターネットなど情報環境の発展に伴って、大きな変化の時期を迎えています。教育の世界も大きな変革を求められています。文部科学省からは、「個別最適な学び」「協働的な学び」を柱とした「令和の日本型学校教育」という指針が示され、学校では、教師が黒板に向かって一斉に子どもたちに講義するような受け身の学習スタイルから、子どもが自分自身で学びたいことを考え、自分なりに選んだ方法でテーマを追求していくような学び方へとシフトチェンジしていくことを目指しています。もちろん、こうした学習の在り方は、一朝一夕にできるものではありません。主体的に学習するには、前提として必要な学力や技能があります。今までの学習の在り方から徐々に主体性を生かした授業内容へと変えていくことが大切です。本校でも、それぞれの学級担任が、小さなチャレンジを繰り返しながら、より子どもたちにとって良い学び方を追究しています。こうした体験の中で子ども達は、自分で学ぶ内容や学び方を選ぶスタイルの良さを感じており、子ども自身も主体的な学習を求めていることがうかがえます。

過日、5・6年生が「令和のやまなし教育活動モデル事業」の取組の一環として起業家教育プログラムの授業を実施しました。この学習は、子ども達がカフェを営業するという設定で、出店場所や集客の方法などに触れながら、グループで謎解きをしていくスタイルで進めました。どの場所に出店すればお客さんがたくさんくるか、誰に対して広告を出せば集客につながるかなどを具体的に考える過程では、子ども達が自分なりに考える場面があり、主体性を高めていくには、有効な学習だと感じました。今後、道志村の持続可能性について考える学習にもつながっていくものと考えています。

保護者の皆様には、学校のチャレンジにご理解とご協力を宜しくお願い致します。

良いお年をお迎えください！

令和6年も残すところ2週間足らずとなりました。年末年始は、子ども達が家族とゆっくり過ごすことができ、様々な日本の文化に触れられる貴重な機会がたくさんある時季です。是非、ご家族で健康と安全に留意され、楽しく有意義な冬休みをお過ごしください。令和7年も学校教育へのご理解とご協力を宜しくお願い致します。